

学校評価へのご協力ありがとうございます。評価項目に関して、一部ですが、本校の取り組みをご紹介します。評価の際のご参考になさってください。

人権教育の推進 : 学校は、自己や他者を尊重しようとする態度や自分の大切さとともに他の人の大切さを認めることができるよう指導している。

- ・いじめ撲滅に向けて、八王子中学校と連携してあいさつ運動を行う等して、人権意識の向上に努めている。
- ・心を潤す四つの言葉 心を元気にする四つの言葉を推進しています。
- ・授業や行事、生活指導を通して他者とともによりよく生きようとする態度や集団生活における規範等を尊重し、義務や責任を果たす態度を養っている。
- ・人権作文・標語作成の取り組みを通して、自分の大切さとともに他の人の大切さを認めることができるよう指導している。
- ・人権月間に、朝会等で講話をおこない人権の大切さを啓発している。

基本的な生活習慣 : 学校は、早寝早起き朝ごはんなど、規則正しい生活を送ることの大切さを指導している。

- ・長期休み前に約束をもとに規則正しい生活をするよう指導しています。
- ・養護教諭より生活習慣について保健だよりを出したり、測定時に指導したりしています。
- ・毎月の講話朝会のなかに「今月の生活目標」についての話を位置づけ、規則や目当てを守って生活する意識を高めています。
- ・10月の生活目標「時間を守って生活しよう」では、チャイム席や時計を見た生活ができるよう指導しています。

道徳教育・規範意識 : 学校は、決まりや社会のルール、マナーなどを身に付けるよう指導している。

- ・道徳の授業で、ルールやマナーに関する教材を使って学習しています。
- ・「みんなのやくそく」に沿って生活指導をしています。
- ・校外学習において、公共施設の使い方や社会のマナーを守る指導をしています。
- ・「いじめ撲滅スローガン」や学級目標を自分たちで考え、生活しやすいようにしています。
- ・道徳の授業や「スマホ携帯教室」などを通して情報モラルについて学習し、学年だよりで知らせたり授業参観で公開したりして、保護者と連携して指導しています。

美化活動・清掃活動 : 学校は、教育環境を整え、きれいな学校づくりに取り組んでいる。

- ・毎月の環境整美委員会の活動日に、教室・トイレ・流しなどの清掃を見回って、清掃チェックカードを活用しています。あわせて、清掃用具の交換や流しの清掃も定期的に行っています。
- ・各教室・トイレに「そうじの仕方」を掲示し、掃除の仕方を統一して指導しています。
- ・学期末大掃除期には、環境整美委員が掃除のポイントを昼の放送し、掃除時間に用具の交換を行っています。
- ・学年で活動日を決めて除草活動・落ち葉掃除を行っています。
- ・学年ごとに日程を決めて教室のワックスがけを行い、快適な教室環境づくりに努めています。

インクルーシブ教育 :

学校は、障がいの有無に関わらず、すべての児童に平等に学びの場が提供される、学習環境を目指している。

- ・教室前面の掲示物は、集中できるように整然とし、情報量を抑えるようにしています。
- ・耳からの情報の方が取り入れやすい児童には、音声教科書の使用を支援しています。
- ・聴覚刺激を抑えるために、机や椅子にテニスボールを装着する場合があります。
- ・福祉体験を行い、車椅子の使用方法や、高齢者や目手足の体験学習をしています。
- ・移動が困難な児童のための車椅子昇降機設置、教室配置の配慮をしています。
- ・板書を撮影し、書き写しに配慮が必要な児童はノートとして利用しています。
- ・拡大教科書を使用し、視覚支援の配慮をしています。
- ・必要な情報指示が入るように、聴覚支援として、教員がロジャー（補聴援助システム）を装備しています。
- ・教職員が6組での交流を行い、個別最適な学習や、合理的配慮について学んでいます。
- ・通常学習で学びづらい児童には、6組での学習支援を行っています。
- ・6組の児童が交流学級での学習活動に参加、学習しています（給食・学年行事も含む）
- ・特別支援学校との交流及び共同学習を行い、地域に住む特別支援学校に通う児童との交流を年数回行っています。
- ・特別支援コーディネーターが、通級指導教室に通う児童のコーディネートをしています。
- ・様々な事情でクラスに入りにくい児童の、クラスへ入る前段階の場としての学習の場として、6組を提供しています。
- ・視覚支援や環境の配慮など、個々の児童の特性に応じた個別の支援を進めています。

体力向上 : 学校は、体育の授業をはじめとする学校生活で体力をつけられるよう指導している。

- ・夏季休業中に実技伝達研修を実施し、教職員向けの実技研修を職員全体に周知し、「活動時間の確保」を意識して授業を展開しています。
- ・自校体操を作成し、体育の授業を中心に体力の向上を図っています。

保健・安全 : 学校は、自身の健康・安全についての関心を育てよう指導している。

- ・成長の記録にお子さんの成長を記録し、保護者の方に確認をしていただいています。
- ・コロナ対策や、けがの防止など保健委員会を通して、全校児童にお知らせ・呼びかけをしています。
 - ・歯と口の健康
 - ・熱中症対策（夏季）
 - ・けが防止
 - ・感染症対策
- ・学級活動や保健の学習で、健やかな心身の成長についての理解を深める指導を進めています。
- ・交通安全教室、自転車運転免許、避難訓練、一斉下校などの行事を通して、自身の安全な行動について学びを進めています。
- ・生活科や理科や社会、保健などの授業を通して、災害や危険個所について指導をしています。

GIGAスクール構想 : 学校は、タブレット等を活用した情報活用能力が育つよう指導している。

- ・QRコードを利用した情報収集能力の育成を図っています。
- ・オクリンクなどのアプリケーションを使った共同学習を取り入れています。
- ・ドリルパークやスタディサプリなどのアプリケーションを利用した基礎学力の向上に取り組んでいます。
- ・インターネットを利用した調べ学習を行うことにより、情報活用能力の育成を図っています。

基礎学力の定着 : 学校は、基礎基本の定着を目指し、わかりやすい授業を行っている。

- ・思考力・判断力・表現力等を身に付けさせるために、学習計画を立て、児童に見通しをもたせた授業を展開しています。
- ・「語彙カード」などを作成し、語彙を豊かにする取り組みを行っています。
- ・タブレットのドリルパークを活用し、漢字筆順や語彙などの基礎の定着を図っています。
- ・ドリルパークやスタディサプリを活用し、基礎的な計算力をつけたり、思考力を高めたりできるようにしています。

読解力の向上 : 学校は、相手の言いたいことを深く理解しようとする姿勢が身に付くよう指導している。

- ・グループ内でお互いに助言し合うなど、伝え合い活動の工夫をした授業を展開しています。
- ・活動前にモデルを示し、主体的に学習に取り組めるような授業を展開しています。
- ・学習に使うワークシートを工夫し、一時間ごとの活動がわかりやすくし、いつでも振り返りができるようにしています。
- ・国語の基礎学力向上のためのドリル学習を朝の時間で行っています。
- ・算数では、児童の考えの発表を通して児童同士が理解を深められるようにしています。

読書活動の推進 : 学校は、児童が読書に親しめるような取組をしている。

- ・毎週月曜日「朝読書」を朝読書の日とし、全校で読書に取り組んでいます。
- ・週に1回程度、授業の中で図書室を利用し、本の貸出・返却や読み聞かせをしています。
- ・図書館司書による「本のもりだより」を発行し、図書館利用の推進をしています。
- ・自分の読んだ本を記録する、「読書通帳」の取組を行い、児童の読書への意欲付けをしています。目標を達成すると、図書室前に掲示されます。
- ・読書月間（秋と冬の2回）には、①絵本と給食のコラボ ②教員による本の紹介掲示 ③読書ビンゴ ④図書ボランティアさんによる読み聞かせ など多数の取組を行っています。
- ・新しい本を適宜購入し、充実した学校図書館づくりを進めています。
- ・西北小には図書室が2部屋あり、読み物の部屋（第一図書室）と、調べ学習の部屋（第二図書室）として活用しています。

G・S指導の充実 : 学校は、楽しいGSの授業を行っている。

- ・朝GSや授業内に、歌やゲーム、ダンス等で楽しみながら英語に親しんでいます。
- ・毎時間の授業で、挨拶、ジェスチャー、握手などのコミュニケーション方法を学んでいます。
- ・映像で世界の子ども達の学校生活や家庭生活、行事などについて学ぶ時間をもっています。
- ・世界の国々について探求する学習をし、国際的な感覚を育てています。
- ・外国の方に日本の文化を伝えられるようも調べています。

みんなで作るみんなの与野西北小づくり・SDGs :

できることを協力する意識をもって、学校にかかわっている。

- ・「せいほくだいすき」児童会スローガンの達成に向けた取組を実施しています。
- ・毎学期のたてわりレクの実施で、異学年交流を深めています。
- ・各委員会からの活動報告やお知らせ・お願いを毎月ホールに掲示し、児童全員で学校をつくっていく雰囲気醸成しています。

情報提供 : 学校は、授業参観や学校だより、学校安心メール等により、学校のことがよくわかります。

- ・4月の授業参観懇談会、5月の希望家庭との個人面談、10月のスポーツフェスティバルが計画通り実施できました。11月にも全家庭個人面談も実施することで、お子さんの状況を担任より伝えていく予定です。
- ・学校だよりの配信により、児童の学校生活の様子を伝えたり、校長の思いを伝えたりするよう努力しています。
- ・学校ホームページを定期的に更新し、最新の情報を発信することを心掛けています。
- ・学校安心メールで速報性のある情報を発信しています。(コロナウイルス感染症関連・熱中症対策関連・学校行事実施状況等)

学級経営 : 学校は、クラスで安心して勉強や生活ができるように指導している。

- ・学期初めの心と生活のアンケートや月1回のアンケートで児童の困り感をひろい、面談等で解決に向けて支援しています。
- ・帰りの会等で、友達の良いところを褒め合う時間を設けています。
- ・授業の中で、友達と意見交換をする時間を設けています。
- ・学級活動等でクラスレクの時間を取り、友達関係を深め合う機会を設けています。
- ・学習規律を学年間で統一し、安心して学習することができる環境を整えています。
- ・交流学級では、個々の特性に応じた個別最適化を目指し、学習活動を進めています。
(視覚支援、支援の構造化、見通しを持った教育活動の充実や、自立へ向けた「自立活動」、「生活単元」学習 状況に応じたコミュニケーション能力の育成、基礎学力の形成)

教育相談 : 学校は、子どものことの相談に適切な対応をとっている。

- ・全校児童が、必ず各担任と面談する機会を年1回設けています。
- ・全学年、命を支え合う授業を行い、児童が困ったとき適切にSOSを出し、誰かに相談できるよう指導しています。
- ・3～6年生に、「心と生活のアンケート」を実施し、アンケート結果によって面談が必要な児童への対応を、速やかに行っています。
- ・困っていても、教員に相談できない児童のために、年2回「こころのポスト」を設置し、手紙で相談できるようにしています。
- ・児童の相談には、担任以外も、児童が相談しやすい先生(学年の先生、前担任、管理職など)も応じています。また相談内容によって、専門職(スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー、さわや相談員)が相談に応じます。
- ・保護向けの教育相談日を毎月1回設け、相談を行っています。
- ・保護者の相談は、担任以外も学年主任、養護、特別支援コーディネーター、教育相談主任、管理職も応じています。
- ・教育相談日以外も、積極的に面談を実施しています。

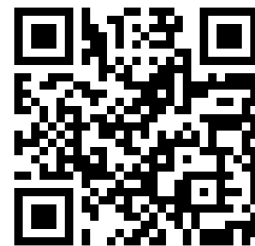
地域とともにある学校づくり :

学校は、地域や家庭に向けてコミュニティ・スクールについて周知され、地域・家庭・学校が一体となった児童のための活動に結びついている。

- ・学校だより8・9月号においてコミュニティ・スクールについての説明をするとともに学校ホームページに学校運営協議会のバナーを設置して会報等を掲載し、コミュニティ・スクールに関する周知に努めています。
- ・教育環境の整備に向け、地域・家庭・学校が連携し花いっぱいプロジェクトを実施しています。

・地域の方に学校についての理解を深めていただくために、地域の方が参加される会議の際に授業参観を実施するとともに、スポーツフェスティバル等の行事を参観していただき、地域の宝である子どもたちの姿を積極的に見ていただいています。

上記の「学校評価のための参考資料」をお読みいただいた後、下のQRコードを読み取っていただき、「学校運営協議会・学校関係者 与野西北小学校 学校評価アンケート」への回答に御協力いただけますようお願い申し上げます。



学校評価アンケートの回答は

11月6日（月）～11月13日（月）までをお願いします。